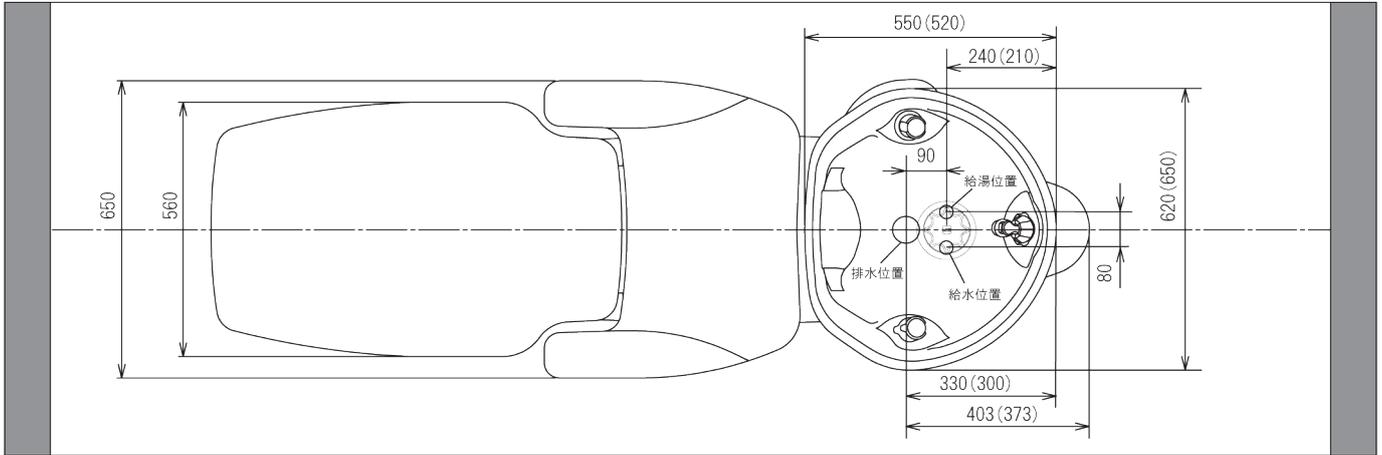


設置の前に

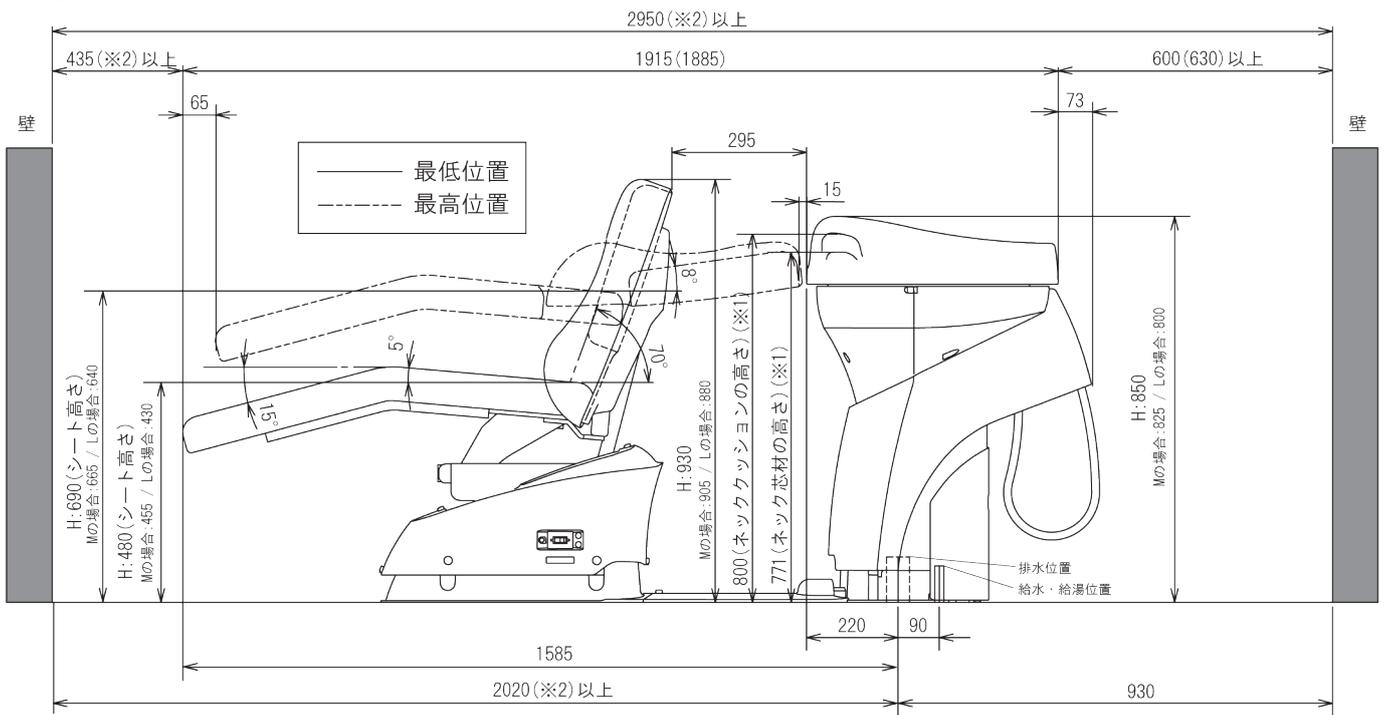
全体レイアウト図：エスポワール

- ボウル本体 : EX-ESSSZ [サイドボウル]
- チェア本体 : SC-ESBF [レッグレスト固定]
- シート : SU-ESBF [ベーシックレッグレスト固定]

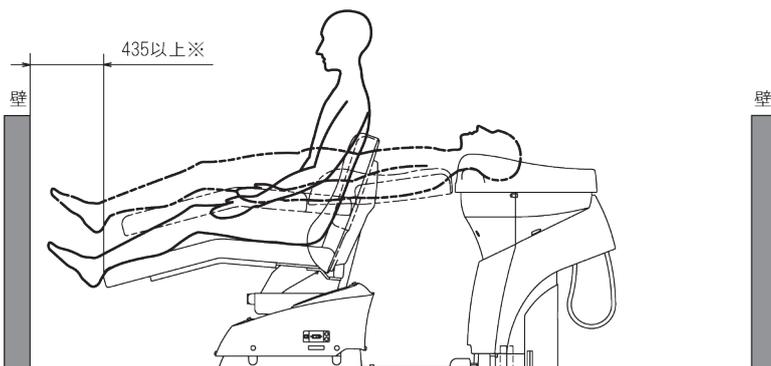
■ **上面図** ※ボウル本体が、EX-ESYMZ[リア(YUME)ボウル]の場合は、()寸法となります。



■ **側面図** ※下図の外形寸法は、ボウル本体、チェア本体の高さがH仕様です。



※1 高さ仕様(L, M, H)での寸法は下表をご参照ください。寸法は、製品により多少バラツキがあります。
 ※2 長身者のお客様が来られる場合、また通路として使用する場合は余裕を見てください。



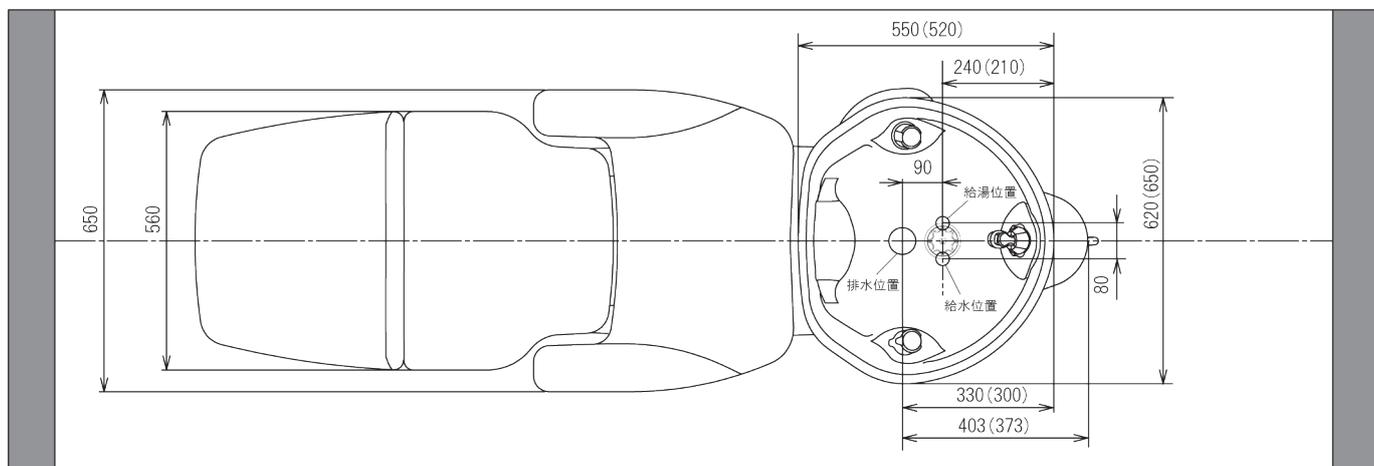
	高さ仕様	ネッククッション高さ	ネック芯材の高さ
EX-ESSSZ	L	750	721
	M	775	746
	H	800	771
EX-ESYMZ	Hのみ	800	774

※寸法・仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

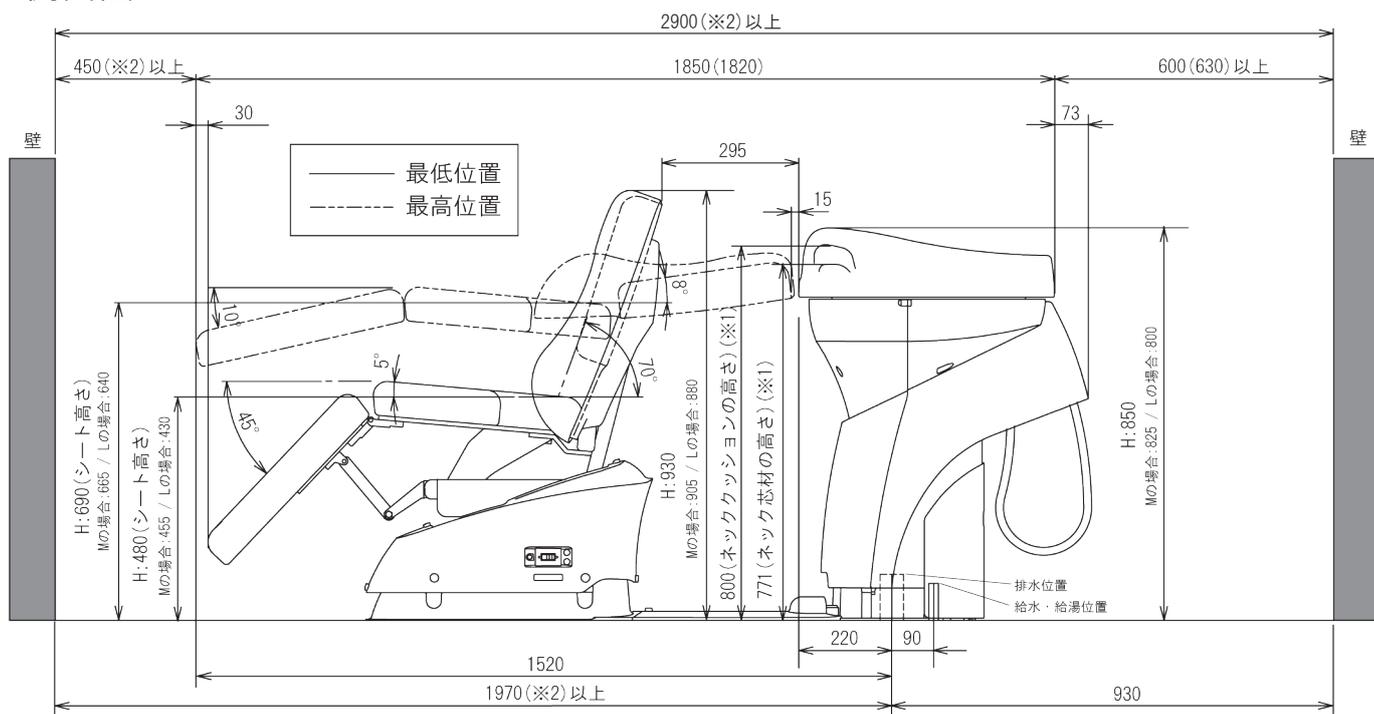
全体レイアウト図：エスポワール

ボウル本体：EX-ESSSZ [サイドボウル]
 チェア本体：SC-ESBL [レッグレスト連動]
 シート：SU-ESBL [ベーシックレッグレスト連動]

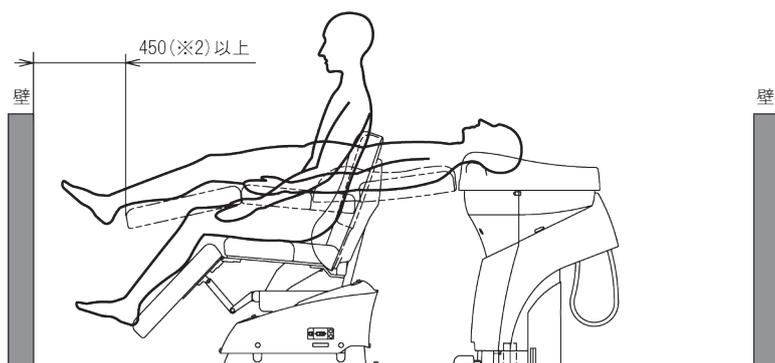
■ **上面図** ※ボウル本体が、EX-ESYMZ[リア(Y UME)ボウル]の場合は、()寸法となります。



■ **側面図** ※下図の外形寸法は、ボウル本体、チェア本体の高さがH仕様です。



※1 高さ仕様(L, M, H)での寸法は下表をご参照ください。寸法は、製品により多少バラツキがあります。
 ※2 長身者のお客様が来られる場合、また通路として使用する場合は余裕を見てください。



	高さ仕様	ネッククッション高さ	ネック芯材の高さ
EX-ESSSZ	L	750	721
	M	775	746
	H	800	771
EX-ESYMZ	Hのみ	800	774

※寸法・仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

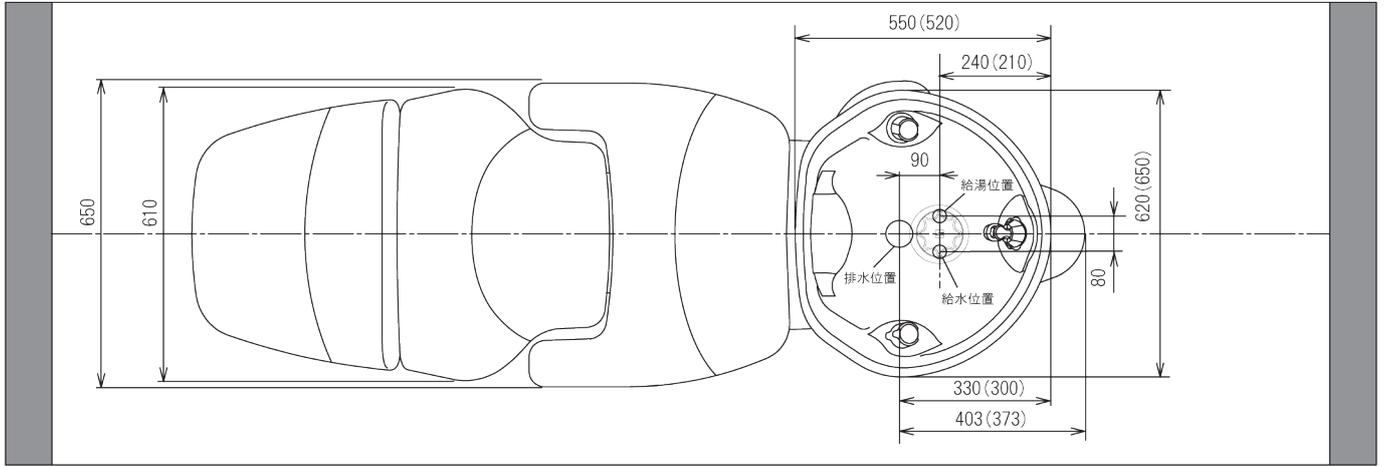
全体レイアウト図：エスポワール

ボウル本体：EX-ESSSZ [サイドボウル]

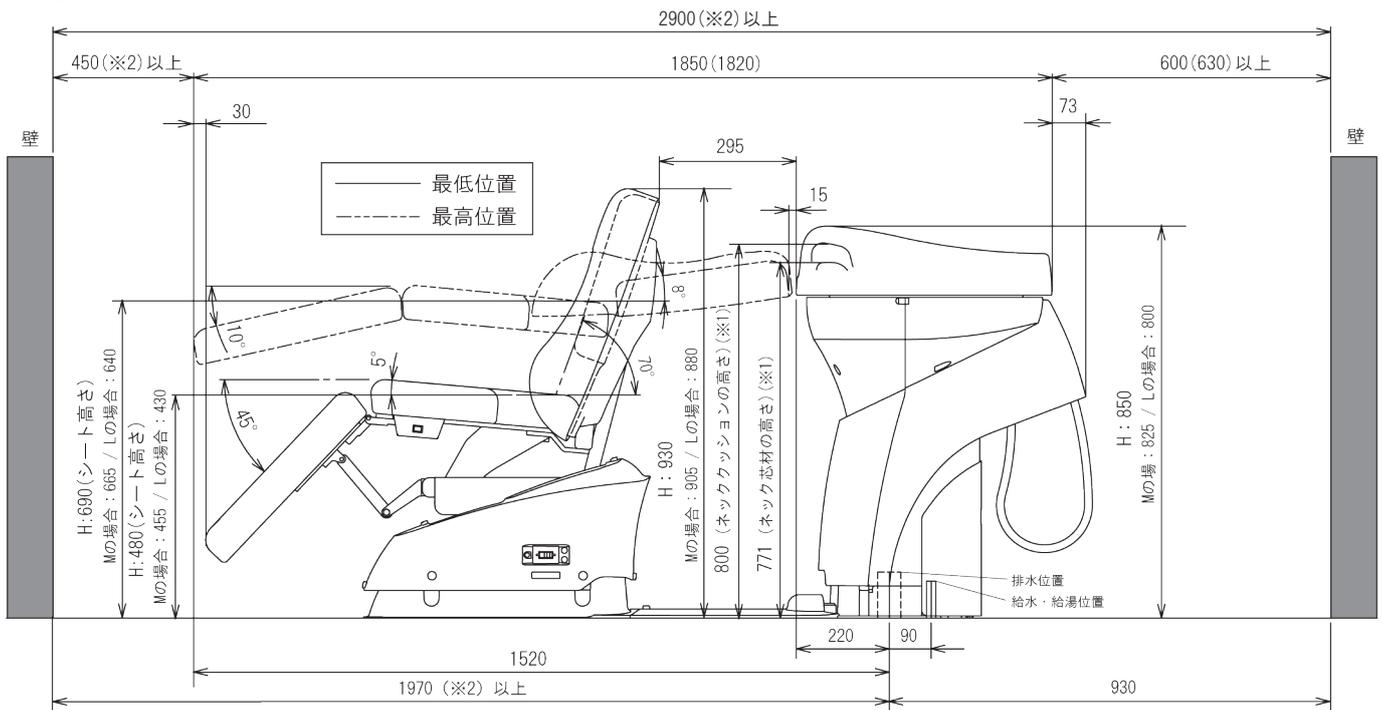
チェア本体：SC-ESP NL [レッグレスト連動ヒーター付]

シート：SU-ESPL [プレミアムレッグレスト連動]

■ 上面図 ※ボウル本体が、EX-ESYMZ[リア(YUME)ボウル]の場合は、()寸法となります。

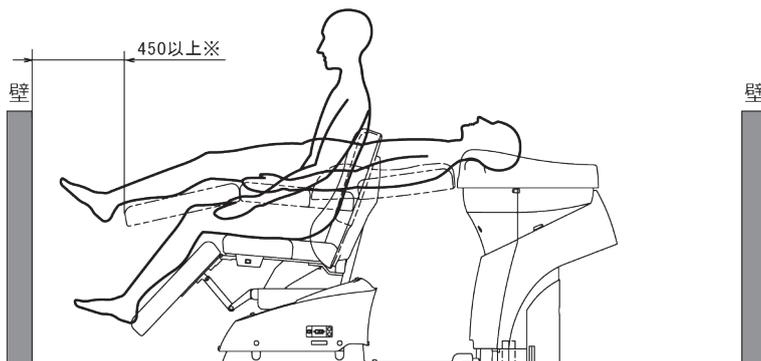


■ 側面図 ※下図の外形寸法は、ボウル本体、チェア本体の高さがH仕様です。



※1 高さ仕様(L, M, H)での寸法は下表をご参照ください。寸法は、製品により多少バラツキがあります。

※2 長身者のお客様が来られる場合、また通路として使用する場合は余裕を見てください。



	高さ仕様	ネッククッション高さ	ネック芯材の高さ
EX-ESSSZ	L	750	721
	M	775	746
	H	800	771
EX-ESYMZ	Hのみ	800	774

※寸法・仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

■電源について

単相100V電源工事を行い、定格15A以上の100V用アース付専用コンセントを設置してください。

【※サービスコンセント最大出力容量 1500W(下記の本体定格消費電力を含む)】

「本体定格消費電力 290/350W(50/60Hz)、推奨コンセント：松下電工(株)WK3821」

■接地工事について

万一の感電における事故防止、および制御回路の耐ノイズ性を向上させるため、必ず本製品専用のアースを設けてください。

●D種以上の接地工事を行う

電気機器にはD種以上の接地工事を行うことが法令で義務付けられています。

D種接地工事を必ず実施してください。なお、接地工事は必ず電気工事士の資格を持った方が行ってください。

●次のようなところにはアース線を接続しないでください。

○水道管：配管の途中が塩化ビニル管の場合、アースされません。

○ガス管：爆発や引火の危険性があります。

○電話線・避雷針：落雷時、大きな電流が流れ危険です。

⚠ 注意

電源プラグの取扱い

電源プラグは、ほこりの付着がないことを確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因となります。

電源コードの取扱い

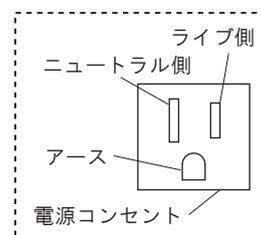
電源コードに無理な力をかけたり、加工、ねじり、曲げなどしないでください。また重い物を乗せたり、挟み込んだ場合、電源コードが破損し、感電や火災の原因となります。

コンセントの取扱い

コンセントは単独で使用し、必ずアース端子付きを使用してください。たこ足配線にすると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

点検するときは電源プラグを抜く

本製品内部の点検や調整を行うときは、電源プラグを抜いてから行ってください。通電状態で電気部品などに触れると感電の原因となります。



■床面について

○床面材料・床面仕上げ材は、防水材もしくは防水加工したものを使用してください。

○床面は必ず水平を確保してください。

○床面は、取付部分に凹凸がないよう平滑にしてください。

○配管立上について

[配管仕様]

給湯・給水	Rc 1/2 "
排水	VU40/VP40

[立ち上げ寸法] ※ただし、リア(YUME)ポウルはH高さのみ

高さ仕様	床下配管仕様		
	L	M	H
給湯・給水	50mm	75mm	100mm
排水	50mm	75mm	100mm

○床仕上げがタイル等の素材の場合、本製品取付時のボルトの締め込みにより、「割れ」が発生します。

この場合、『製品固定位置図』【35ページ】および各営業所に配布の型紙を参考に、床と接触している取付部分は合板、モルタル等の素材に変更してください。

チェア本体は、ベース全面が床と接触していません。施工時は、『製品固定位置図』【35ページ】および各営業所に配布の型紙を参考に床と接触している取付部分をご確認いただき、注意して素材変更を行ってください。

○床面には以下の強度が必要です。

木製床の場合	ベニア厚は30mm以上(15mm板2枚重ね以上)です。
モルタル床の場合	モルタル厚は50mm以上です。
特殊な床(石張り等)の場合	設置位置に上記の強度を確保した土台が必要です。

■漏水対策について

○階上設置される場合は、必ず防水処置(防水工事、ステンレス鋼板製等のパンの設置、もしくは漏水センサーの設置等)を行ってください。

○配管立ち上げ部の開口部と配管との隙間は必ずコーキング剤等でふさいでください。

■配管施工について

ここに書かれた事項は、配管施工に関する重要な内容です。
この内容を十分にご確認の上、正しい配管工事を行ってください。

- 本製品を設置されるときは、『タカラグループ理美容給排水設備工事標準』、および本書の『配管施工上の注意』に基づいて配管施工を行ってください。注意を怠って配管されますと、ミキシングが満足に働かず、一定温度のお湯が得られないことがあります。
- 本製品は室内専用です。設置は必ず室内に行ってください。

■配管施工上の注意

- 給水（一次給水）配管
 - ・市水道直圧管の場合、各水道局指定の工事店に依頼し、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。
 - ・市水道直圧管以外（高架水槽下り給水管等）の場合、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。
- 給水配管には錆の発生する管材料は使用しないでください。
原則としてV P管または、その地域の指定材料をご使用ください。
- 給湯配管には原則として脱酸銅管、Lタイプを使用してください。
- 給湯・給水配管は原則として同径同圧にしてください。
- 管の切断面は必ずリーマをかけてバリ取りをしてください。
- 空気溜りの原因となる逆U字配管（鳥居配管）は避けてください。
- 給湯・給水管内の配管くず・ゴミ・砂・油はトラブルの原因になりますので、必ず除去してから配管接続をしてください。
- 配管接続を行い、通水テスト後にストレーナーおよびシャワーヘッドの掃除をしてください。
- 排水管の勾配は、排水管径φ75未満は1/50以上、φ75以上は1/100以上にしてください。
- 湯・水を逆配管しないでください。
逆配管は水栓金具の温度調節不良の原因になり、やけどの危険があるなどトラブルの原因となります。
- 給湯機からの給湯配管は、抵抗を少なくするため最短距離にしてください。
長くすると温度変化やお湯の出が悪くなる原因になります。
- 配管後は、必ず保温材を巻いてください。
- 温水ボイラーの配管について
 - ・給湯本管・給水本管は原則として同径同圧にしてください。
 - ・温水ボイラー設置については、必ず専門業者に施工依頼してください。

使用条件

■使用給湯・給水条件

使用水	<ul style="list-style-type: none">・上水道水（飲料不可の井戸水やサビ・砂を含んだ水は使用しないでください。）・硬度が80ppm以上の場合、ポウル本体へのスケール詰まりを予防するため、軟水器による処理を行ってください。また、飲料可能な井戸水の場合、シャンプー時に泡が立ちにくい場合がありますので、同様に軟水器による処理を行ってください。
給湯・給水圧力	<ul style="list-style-type: none">・0.1～0.4MPa（1～4kgf/cm²）の範囲にしてください。また、複数台での使用の場合でも0.1MPa（1kgf/cm²）以下にならないようにしてください。・給水圧力≥給湯圧力にしてください。・給湯圧力と給水圧力の差は、0.2MPa（2kgf/cm²）以内にしてください。
機器への給湯温度	<ul style="list-style-type: none">・給湯温度は80℃以下にしてください。・使用シャワー温度より10℃以上高くしてください。
給湯機	<ul style="list-style-type: none">・給湯機は、理美容サロン専用のDANRYUシステムのご使用をおすすめします。その場合の施工方法は、DANRYUに付属の工事の手引きを参照してください。・瞬間湯沸かし器をご使用の場合は、16号以上を使用してください。（洗髪能力は瞬間湯沸かし器1台につき、本製品1台です。）・貯湯式ボイラーをご使用の場合は、貯湯式ボイラー説明書を参照してください。・上記指定の給湯温度以上の高温の流体（蒸気）を流すと、給湯管が破損する恐れがありますので、給湯管に蒸気発生装置を接続し、高温の蒸気を発生させないでください。

製品固定位置図

床面仕上げがタイル等の素材の場合、シャンプーユニット取付時のボルトの締め込みにより、「割れ」が発生します。この場合、取付部分は合板・モルタル等の素材にしてください。

① ボウルベースおよびチェアベースの外形ラインに沿って、内側のタイルまたはガラスをはく離します。このはく離作業は入念に行ってください。はく離が見える可能性があります。

② はく離した部分の内側にコンパネを敷きます。

コンパネは、周囲のタイル・ガラスよりも高くなるようにしてください（2～3mm以内）。

●：本体の電源プラグと電源コンセントを接続する位置を示しています。

○：床設置面を示しています。

●：電源コード立上げ位置範囲を示しています。

立ち上げ位置からの電源コード長さ
 チェア側からの場合（範囲A）：300mm以上
 ボウル側からの場合（範囲B）：1300mm以上

本体の電源プラグと電源コンセントの接続位置

※電源コードの立ち上げ位置ではありません。

製品寸法 (最大)

- ・排水中心からシート先端まで
- 【エスボウル】
- レックレスト固定の場合 1585mm
- （背モタレが起きた状態が最大）
- レックレスト運動の場合 1520mm
- （背モタレが起きた状態が最大）
- 【スイート】【ノーブル】
- 1585mm
- （背モタレが起きた状態が最大）

製品寸法

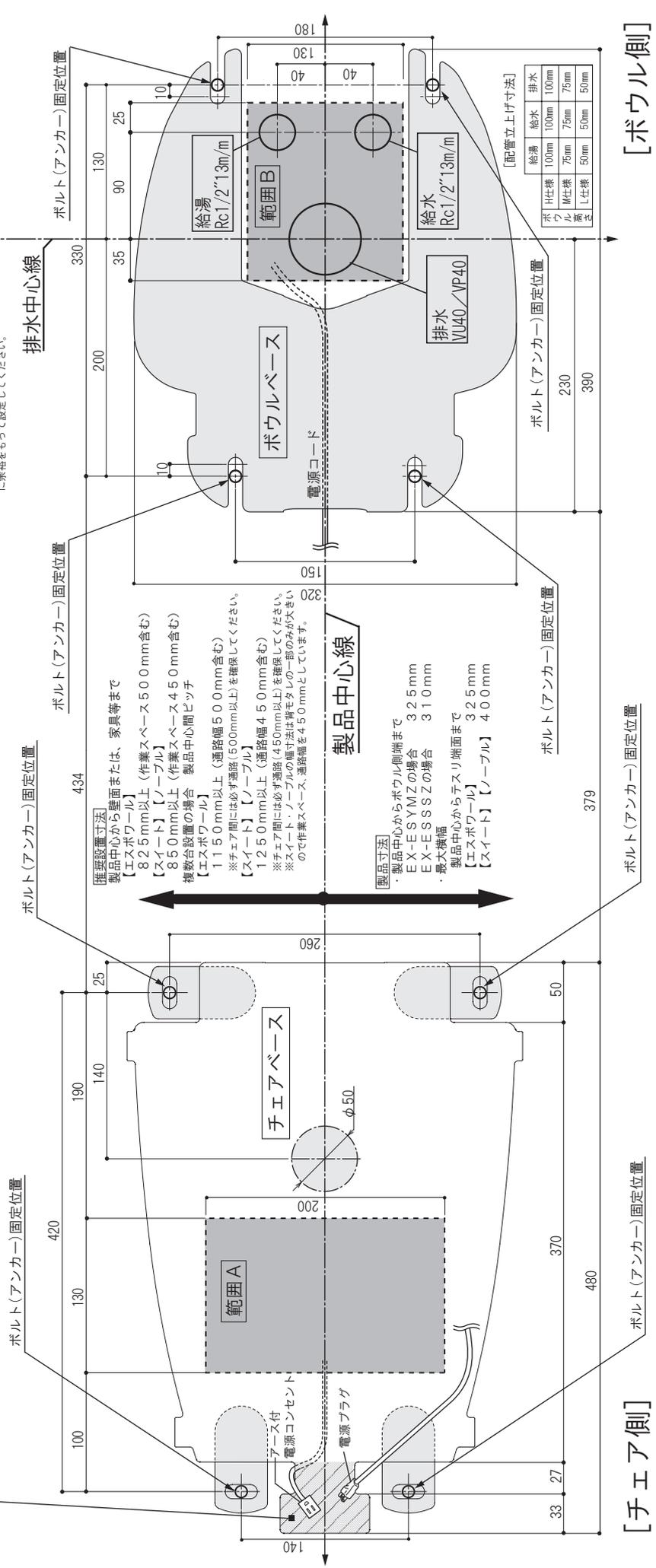
- ・排水中心からボウル後端まで
- E-X-E-S-Y-M-Zの場合 300mm
- E-X-E-S-S-S-Zの場合 330mm
- ・排水中心からボースカバー後端まで
- E-X-E-S-Y-M-Zの場合 373mm
- E-X-E-S-S-S-Zの場合 403mm

推奨設置寸法

- ・排水中心から壁面または、家具等まで
- E-X-E-S-Y-M-Zの場合 930mm以上
- （作業スペース630mmを含む）
- E-X-E-S-S-S-Zの場合 930mm以上
- （作業スペース600mmを含む）
- ※作業スペース：ボウル後端～壁面または家具までの距離
- （スツールを用いたボウル後ろからの施術を想定）

目安設置寸法

- ・排水中心から壁面まで
- 【エスボウル】
- レックレスト固定の場合 2020mm
- （足元スペース 435mm 含む）
- レックレスト運動の場合 1970mm
- （足元スペース 450mm 含む）
- 【スイート】【ノーブル】
- 2020mm
- （足元スペース 435mm 含む）
- ※長身者のお客様が来られる場合は、足元スペースに余裕をもって設定してください。



ボルト(アンカー)固定位置

【チェア側】

【ボウル側】

【配管立上げ寸法】

給湯	給水	排水
100mm	100mm	100mm
巾仕	巾仕	巾仕
75mm	75mm	75mm
高さ	高さ	高さ
50mm	50mm	50mm